

2009年8月4日

株式会社HARP

夕張市様に総合行政システムをSaaSサービスで提供開始

当社は、総合行政システム（市町村基幹業務システム）のSaaS*サービス提供を開始しました。本サービスは、地場のデータセンターを活用し、ネットワークを通じてアプリケーションを提供するいわゆるSaaSでサービスを提供しており、サービス提供にあたっては、富士通株式会社様及び株式会社エイチ・アイ・ディ様との協力体制の下、実施しております。

本サービスは、既に夕張市様で住民記録系から順次運用を開始しております。

これまで当社では、道内外の自治体の皆様に、電子申請、施設予約、電子調達といったフロントオフィス系業務のSaaSサービスを提供してきており、これらで培ったノウハウを生かしながら、夕張市様にもSaaSサービスの提供を行っております。

本SaaSサービスの提供を皮切りに、道内自治体の皆様にバックオフィス系業務のSaaSサービスの提供に向けて、取り組みを加速させていくとともに、他システムのSaaSサービスの提供に向けても検討を進め、自治体の皆様の選択肢を広げる一方で、ITコストの削減に寄与していきたいと考えております。

また、今後も地場IT企業の皆様とも積極的な協業を進め、自治体へのSaaSサービスの導入推進に向けて努めて参ります。

*SaaS…Software as a Service。インターネットを介してサービスとして利用できるようにしたソフトウェアの配布形態。ユーザは開発経費や保守運用が不要など大幅なITコストの削減が可能なことやシステム改修はサービス提供事業者側で実施できるなどメリットが多く、国でも自治体向けシステムのSaaS化に向けて普及促進が図られている。

■企業概要

株式会社HARP

所在地：〒060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目1-2 アーバンネット札幌ビル3階

役員：代表取締役 久保田俊昭 設立時期：2004年9月21日

資本金：4億7100万円 社員数：26名（2009年4月1日現在）

主要株主：北海道、NTT東日本、北海道電力、北海道ガス、北洋銀行

事業内容：電子申請、電子調達、施設予約など各種電子自治体システムに関するサービスの提供

設立目的：弊社は、北海道が推進する「HARP構想（北海道電子自治体プラットフォーム構想）」の運営事業体として設立された北海道の第三セクターで、電子自治体システムの各種機能を集約した共通プラットフォーム「HARP」の運営を通じ、特定ベンダーに依らず、行政サービスの向上や業務の簡素効率化、地域のIT産業の振興など、デジタルネットワーク社会にふさわしい自治体運営をサポートしています。

■お問合せ先

株式会社HARP 企画営業部 山崎

TEL:011-221-5800 MAIL:noriyuki.yamazaki@e-harp.jp